EDGE

Enhancing Development of Global Entrepreneur

キャリアセンター基金

EDGEキャリアセンター基金の目的

これからの厳しい時代を切り拓く学生を育てることを目的として、課題と思われる部分を解決するために、『佐世保高専 EDGE キャリアセンター』を設置し、同センターで、①問題解決能力及び人間力の育成、②国際化(コミュニケーション(英語)力)を強化、③地元意識を涵養、等の教育を行う予定としておりますが、本校の予算だけでは十分な支援が出来ない事が見込まれている状況です。

皆様からの「基金」へのご寄附により、学生への支援に役立てたいと存じますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

基金の使途

■学生の旅費補助

(アントレプレナーシップ教育等の各種コンテスト参加旅費、 海外留学旅費、地元就職希望者対象の見学会旅費)

■その他センター運営経費



で支援いただける場合、

個人の方 1 口 3 千円 (何口でも申込み可) 企業 (法人) の方 1 口 1 万円 (何口でも申込み可)

でご寄附いただきますようお願いします。

会計・謝意

- ■毎年1回作成・発行予定の佐世保高専 EDGE キャリアセンター年次報告において会計報告
- ■本校WEBサイトにおいて寄附いただいた寄附者の芳名 を掲載した「寄附者芳名録」を掲載(希望者のみ)
- ■一定額以上の累積寄附をいただいた寄附者の芳名を記載 した銘板を掲示(希望者のみ)

お問い合わせと申込先

〒857-1193

長崎県佐世保市沖新町1番1号

佐世保工業高等専門学校総務課企画係

Tel: 0 9 5 6 - 3 4 - 8 4 1 5E-mail: kikaku@sasebo.ac.jp



佐世保高専 EDGE キャリアセンター設立趣意書

長崎県第二の都市である佐世保市は古くから造船業及び漁業で栄えてきた土地で、佐世保工業高等専門学校は、 佐世保市及び長崎県北の発展に寄与する技術教育機関となるべく誘致され、昭和37年に開校した最初の国立高 専12校のうちのひとつです。

50年を超える歴史の中で8,000名を超える技術者を輩出してまいりました。今日の佐世保高専に導いてくださったのは、本校の教職員の努力は言うに及ばず、卒業生の皆様のたゆまぬご尽力と地元各界の皆様のご支援の賜と深く感謝いたします。

令和 4 年には開校 60 年を迎える本校ですが、これからの厳しい時代を切り拓く学生を育てることを目的として、課題と思われる部分を解決するために、『佐世保高専 EDGE※キャリアセンター』を設置し、同センターで、今後、以下のことを強化すべきと考えております。

XEDGE

本校の研究開発成果を基にしたベンチャーの創業、既存企業による新事業の創出促進等のイノベーション創出を活性化させ、国際的に活躍できる人材の育成を目的としている。

Enhancing Development of Global Entrepreneur の略 読み:エッジ

①問題解決能力及び人間力を備えさせること

起業家の生き方や精神(アントレプレナーシップ)を様々な体験から学ぶことで、社会における自分 の在り方や困難に対峙する精神力を学ばせる。また、各種コンテストに参加させることで課題解決能 力の涵養を目指す。

②国際化 (コミュニケーション (英語) 力) を強化させること

海外留学や海外インターンシップを推奨して、若いうちに異文化を体験することで視野 を広く持ち、これからのグローバル時代に対応できる学生を育てる。

③地元意識を涵養すること

地元企業の皆様のお力を借りて、授業の一部を担当していただくことで、自分たちの学びが実社会とどのように結びつくのかを認識させ、併せて、多様な皆様の地元企業を意識させることで、将来的な地元企業への就職率の向上を目指す。

上記の中で、特に経費面で苦慮しているのが、学生の旅費等の支援になります。

海外留学も文部科学省の「トビタテ!留学 JAPAN」等への応募を推奨したいと考えておりますが、限りがあります。同様に国内開催の各種コンテストへの参加も旅費の支援まで負担していただけるものは少なく、積極的な応募に繋がっていない現状にあります。

学生の経済的負担を軽減することで、広い視野や高い視座を持たせることが出来れば、と思う次第です。 そこで、「佐世保高専 EDGE キャリアセンター基金」を創設し、学生への支援に役立てたいと存じます。

私たちは、今後の社会の課題を解決し、新たな未来を創造していく学生を育てたいと考えております。厳しい 経済状況の中で誠に恐縮に存じますが、皆様方の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

> 令和元年7月3日 佐世保工業高等専門学校長 東田賢二



寄附者への感謝と顕彰

「佐世保高専 EDGE キャリアセンター基金」にご寄附いただきました方々への感謝の意を込めて、以下の顕彰をご用意しています。なお、掲載をご希望されない寄附者様につきましては、掲載いたしません。

①銘板による顕彰



※画像はイメージです

寄附者のご芳名を事務局玄関に設置 予定の「佐世保高専 EDGE キャリアセンター基金寄附者銘板」に刻銘し、末永く顕彰します。

なお、個人の場合は、累計寄附額 10 万円以上の寄附者を顕彰の対象とし、 法人・団体等の場合は、累計寄附額 100 万円以上の寄附者を顕彰の対象 とします。(公開をご希望されない方 は掲載いたしません。)

②ホームページへのご芳名掲載

基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。」

3 . Al-6580 - 1	野付金額の開設 THE RANGET PER	PER HERRY	AT LINGUISH	Witnesses (ren	200		
<無非大学者							
ESIA TOPME	MICHAEL III						
200,000	NAA KIN						
111111111111111111111111111111111111111	Mile It was	THE WATER					
ELIPHIN	HIT MADE	84 MAD	40 Sec.			SE STAN	
	Maria Maria (A)	** 2710	MU N-R	THE AT ISS	14 630-15	BR 879	
	109 900		** ***		11		
	MMEANING - 2.7 - 2 - 7 (14)		DESCRIPTION OF				
2.8880	and the second		NORTH BURN	DE 100 TE			
E164 614	A SHEET WATER OF THE SHEET SHE		note in a surem	DE COL TY.			
(共和) (100 (株本大学)	A SHEET WATER OF THE SHEET SHE	###1 NC 1#	AN ME				AU #4
(日本大学) (日本大学) (日 (日))	の の の の の の の の の の の の の の			-0 00: 77.		A1 5411	AR MA
(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	み回収 MATERIAL COLORS MATERIAL COLORS	### MESS	See see	-0.00			28.97
にする後 を担め <携本大学 を2 (年)(3 (6)(4 年)()	を開設 を主要的できているが 整金> 物の 対すが 物の 内室が	### #### ## ####	AM NO.	-0 010 18 m	** *	1000 1000 1110	CR 97
(大学報 報報 <無本大学(株理 (日)(株理 (人 水内() 株月(株数 観察	ト開覧 NCTRECTONA 転数 > ・ 数数 対す 20 ・ 表数 数数 20 ・ 表数 20 表数 2	MERICALIA	AR NO.	-0 0011 18 to 88 81	** *	100 100 FT	08 87 88 80 18 50
医子宫体 电积4 <無本大学/ 和2 27(2) 20(1) 2	を開設 地で下記をするでいるが 総会 > 他の 科学派 中の 社会 の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	MERICALIA MERICAL MERI	ABI NOT 110 0-(10) ABI NA(0) 201 (10)	-0 0011 18 h- 86 01 68 0011	** * ** ***	98 2970 98 2970	(10 MF (MF MQ (10 AH) (MI MF)
2 加高的的 法下的 物种 大照本大学(和 大) (トが開設 中に下級させているが 熱意 > ・ 利利 利子派 ・ 特別 利本派 ・ 本点 原本派 ・ 注土 利之 ・ 表表 ・	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	AB NOT 110 0=(10) AB NA(10) AB NA(10)	-0 01/0 18 /- 16 E/0 18 80/21 4 88	** * ** **** ** ****	98 (97) 98 (77) 98 (77) 98 (77)	00 07 00 00 00 00 00 00 00 00

※画像はイメージです

ご寄附をいただいた皆さまのご芳名はご芳名録に記し、本校HPにて掲載し、末永く顕彰します。(公開をご希望されない方は掲載いたしません。)